

## 2023年卒業生調査の報告

調査対象：大学 IR コンソーシアムの調査希望 17 大学の学部卒業生  
卒業年月：2008(平成 20)年 3 月, 2013(平成 25)年 3 月, 2018(平成 30)年 3 月  
調査方法：Web アンケート  
調査期間：2023 年 7 月～2024 年 3 月 31 日  
有効回答数：4,087 件 内 芝浦工業大学 295 件 (配布数 3,301 : 回収率 8.9%)

### 【卒業生調査 2023 年の要点】

・本学の卒業生調査について全大学と理系大学（理学・工学・農学・その他理系（教養学部の理系群等）との比較から報告します。

#### 1. 基本情報

・回答者は卒業後 5 年(2018 年卒)(38%)、卒業後 10 年(2013 年卒)(34%)、卒業後 15 年(2008 年卒)(28%)等。女性の回答者割合は 17%です。

#### 2. 授業や課外活動等の取り組み

・専門科目に熱心です。外国語科、資格取得、ボランティアはあまり熱心ではありません。

#### 3. 在学中の成長実感

・「専門分野や学科の知識」「コンピュータの操作能力」「分析力や問題解決能力」「他の人と協力して物事を遂行する能力」「プレゼンテーションの能力」「数理的な能力」の成長実感が高いです。成長実感が低い項目は卒後 5 年の卒業生について改善しています。

#### 4. 大学時代の留学経験

・「渡航したことはない」が多いです。卒後 5 年は留学経験者が大きく増加します。

#### 5. 満足度

・教育研究は「とても満足」「満足」で 7 割以上を占めます。生活全般は「とても満足」「満足」で 8 割以上を占めます。本学は「とても満足」が少なめです。

#### 6. 大学とのつながり

・「同窓との付き合い」(48%)が多く、次に「ゼミや研究室の集まり」(28%)「クラブ・サークルの集まり」(23%)「恩師との付き合い」(17%)が多いです。(複数回答)

#### 7. 初職

・志望の初職に 75%が就いています。95%は無期雇用（正社員）の就職です。主な業種は、「製造業」(32%)、「建設業」(17%)、「情報通信業」(16%)です。主な選択理由は、職種、業種です。比較的専門分野とのつながりや知名度等を重視しています。

#### 8. 転職・離職

・経験者は 33%で、主な理由は「ステップアップを図るため」(36%)です。

#### 9. 現職

・92%が無期雇用(正社員)で、従業員規模は「5,001 名以上」(36%)が多いです。現職の主な業種は、「製造業」(31%)、「情報通信業」(17%)、「建設業」(15%)です。在籍年数は、「5 年以上 10 年未満」(36%)と「10 年以上」(29%)が多いです。主な職種は、「技

術・研究職」(53%)、「IT エンジニア職」(17%)、「事務・企画職」(10%)です。職階は、「一般職(役職なし)」(60%)と「監督職(係長・主任級)」(30%)が多く、年収は全大学や理系大学と比べて、「600～800 万円」(29%)や「800～1000 万円」(17%)が多いです。

## 10. キャリアパスの満足度

・キャリアパスの満足度は64%です(「とても満足」18%、「満足」46%)。

## 11. 海外での勤務経験や業務における外国語の使用

・「メールや文書のやりとり」(32%)や「海外出張」(25%)、「外国語で会話や議論」(21%)の機会があります。全大学や理系大学より多いです。使用はない卒業生は56%です。

## 12. 大学生時代に身につける能力の重要性

・「他の人と協力して物事を遂行する能力」、「コミュニケーション能力」、「人間関係を構築する能力」、「分析力や問題解決力」の重要性が高いです。正課や準正課で汎用的技能の学習を考慮する重要性を示唆します。

# 1. 基本情報

### (1) 回答者の卒業年

本学卒業生の回答は卒業後5年(2018年卒)が多く(38%)、全大学は「その他」が多くほぼ4割を占めます(表1-1)。

### (2) 回答者の性別

女性の割合は、本学17%、理系大学23%、全大学48%です(図1-2)。

### (3) 芝浦工業大学の学部

工学部70%、システム理工学部27%、デザイン工学部3%です(表1-3)。

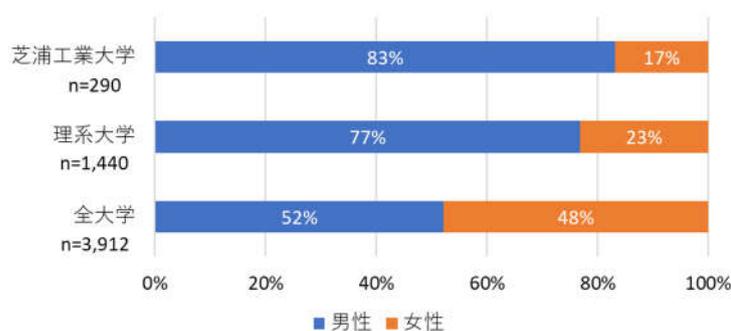
**表1-1 大学卒業年(F2)**

大学卒業年 (F2)	芝浦工業大学		全大学	
	人数	%	人数	%
5年 (2018卒)	113	38.3%	1,122	27.5%
10年 (2013卒)	99	33.6%	711	17.4%
15年 (2008卒)	81	27.5%	627	15.3%
その他 (上記以外の卒業年、または空欄)	2	0.7%	1,627	39.8%
合計	295	100.0%	4,087	100.0%

**表1-3 芝浦工業大学の学部**

学部	人数	%
工学部	206	69.8%
システム理工学部	80	27.1%
デザイン工学部	9	3.1%
合計	295	100.0%

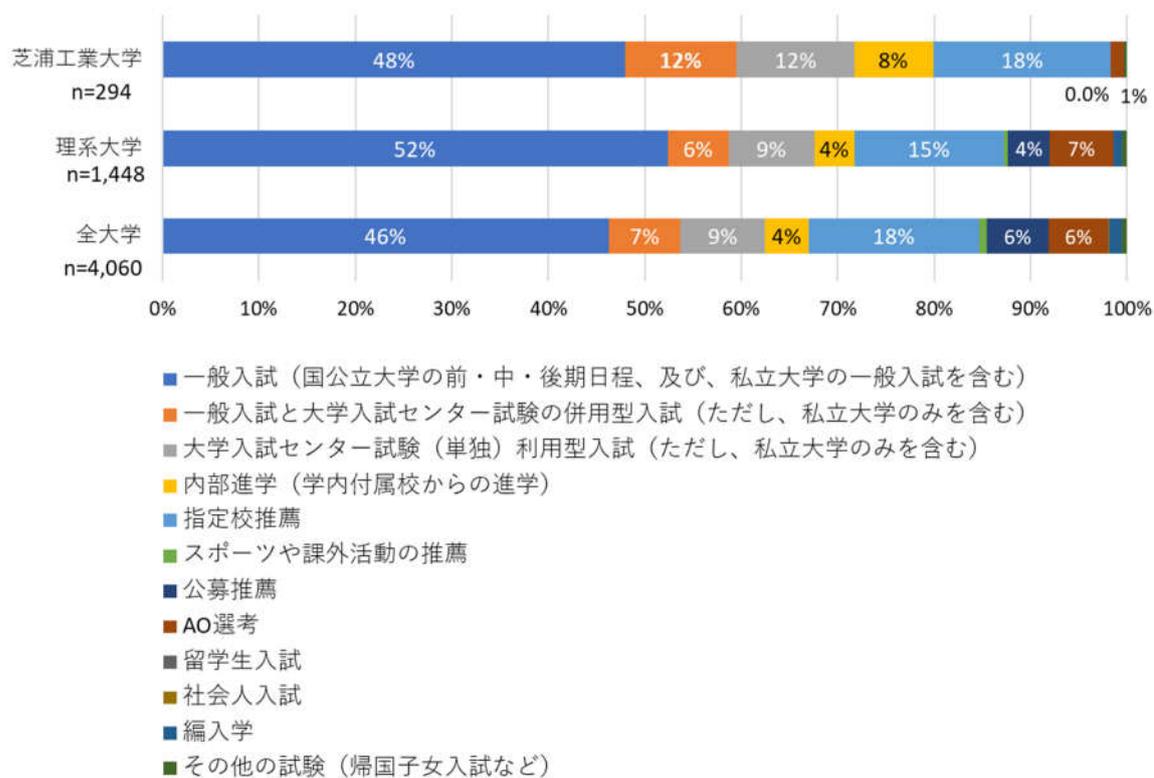
**図1-2 性別(F3)**



#### (4) 入学試験の形態

「一般入試」が約半数です（本学 48%）。本学は大学入試センター試験の利用と「内部進学」(8%)が多く、「公募推薦」(0%)と「AO入試」(1%)が少ないです(図 1-4)。

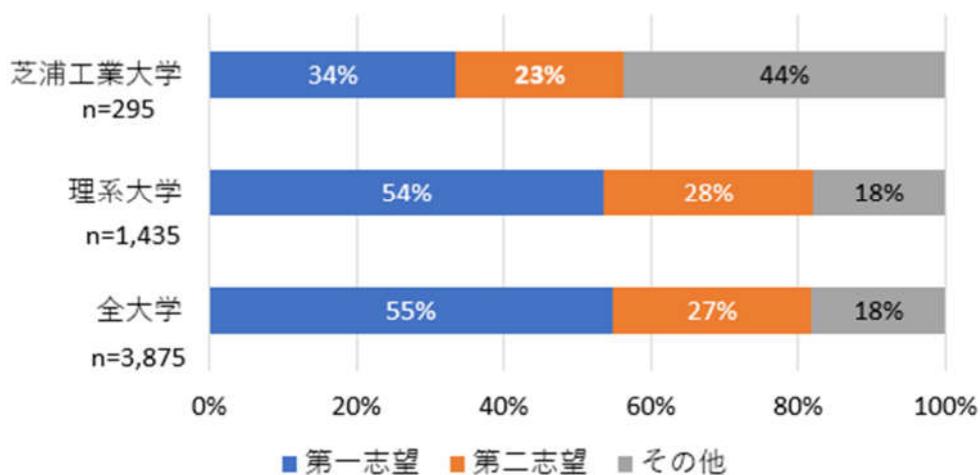
図 1-4 入学試験の形態 (Q1)



#### (5) 志望順位

本学の卒業生は第一志望が少なく(34%)、その他(44%)が多いです(図 1-5)。

図 1-5 志望順位(Q2)



(6) 高校卒業時と現在の居住地

本学卒業生の高校卒業時と現在の居住地は関東がほぼ8割を占めます(図1-6)。

図1-6-1 高校卒業時の居住地(F4A)

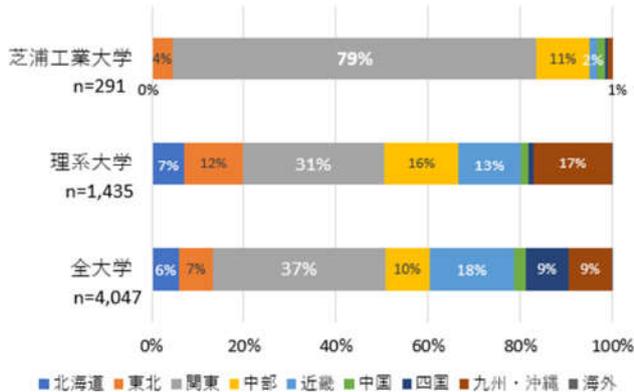
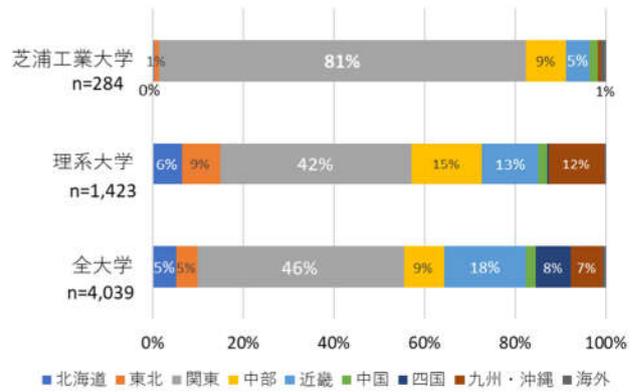


図1-6-2 現在の居住地(F4B)



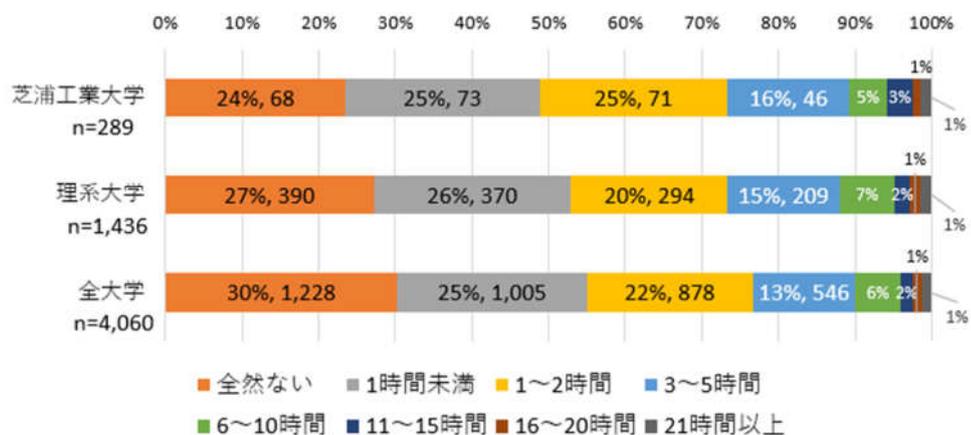
(7) 勤務時間外の学習時間(一週間あたり)

本学の卒業生は「1~2時間」(25%)の割合が比較的に多いです。全大学、理系大学の最頻値は「全然ない」です(表1-7、図1-7)。

表1-7 勤務時間外の学習時間(F5)

F5. 勤務時間外の学習時間(一週間あたり)	芝浦工業大学		理系大学		全大学	
	人数	%	人数	%	人数	%
全然ない	68	24%	390	27%	1,228	30%
1時間未満	73	25%	370	26%	1,005	25%
1~2時間	71	25%	294	20%	878	22%
3~5時間	46	16%	209	15%	546	13%
6~10時間	14	5%	104	7%	236	6%
11~15時間	10	3%	28	2%	68	2%
16~20時間	3	1%	20	1%	45	1%
21時間以上	4	1%	21	1%	54	1%
総合計	289	100%	1,436	100.0%	4,060	100.0%

図1-7 勤務時間外の学習時間(F5)



## 2. 授業や課外活動等の取り組み

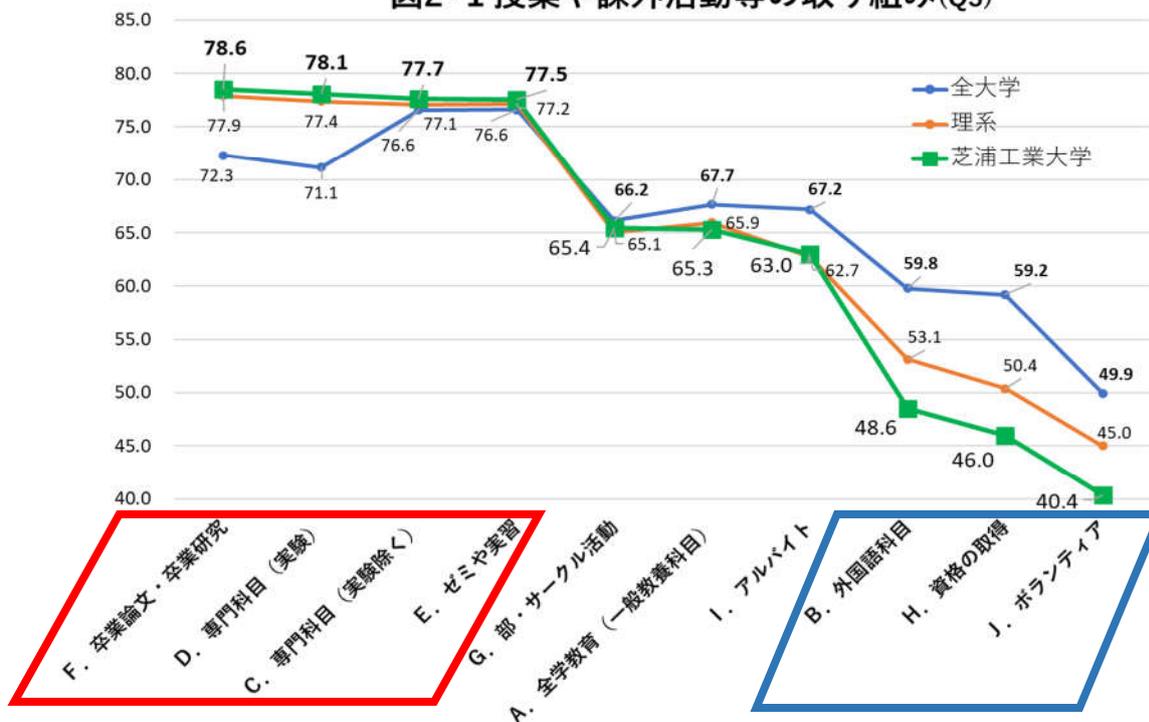
在学時の授業や課外活動等の取り組み 10 項目について、本学の卒業生は専門科目 (F.D.C.E) に熱心です。一方、外国語科目、資格取得、ボランティアはあまり熱心ではありません (表 2-1、図 2-1)。

表2-1 授業や課外活動等の取り組み(Q3)

質問番号	項目名	全大学	理系	芝浦工業大学
Q3F	F. 卒業論文・卒業研究	72.3	77.9	<b>78.6</b>
Q3D	D. 専門科目 (実験)	71.1	77.4	<b>78.1</b>
Q3C	C. 専門科目 (実験除く)	76.6	77.1	<b>77.7</b>
Q3E	E. ゼミや実習	76.6	77.2	<b>77.5</b>
Q3G	G. 部・サークル活動	66.2	65.1	65.4
Q3A	A. 全学教育 (一般教養科目)	67.7	65.9	65.3
Q3I	I. アルバイト	67.2	62.7	63.0
Q3B	B. 外国語科目	59.8	53.1	48.6
Q3H	H. 資格の取得	59.2	50.4	46.0
Q3J	J. ボランティア	49.9	45.0	40.4

\* 熱心100点、やや熱心75点、どちらともいえない50点、やや不熱心25点、不熱心0点、取り組まなかった50点の平均点  
芝浦工業大学の点数で項目を並び替え、グループ内最高点は太字

図2-1 授業や課外活動等の取り組み(Q3)



### 3. 在学中の成長実感

能力 20 項目について、選択肢は、「大きく増えた」「増えた」「変化なし」「減った」「大きく減った」の 5 段階です。百点満点に換算して、本学の点数が高い順に並べ替えました（表 3-1, 図 3-1）。

#### 1. 成長実感が高い項目（75 点以上）（C,Q,B,H,O,P）

「専門分野や学科の知識」「コンピュータの操作能力」「分析力や問題解決能力」  
「他の人と協力して物事を遂行する能力」「プレゼンテーションの能力」  
「数理的な能力」

#### 2. 成長実感が低めの項目（65~75 点）（G,N,A,T,R,L,D）

「人間関係を構築する能力」「コミュニケーションの能力」「一般的な教養」  
「就職に向けた情報収集能力」「時間を効果的に利用する能力」「文章表現の能力」  
「批判的に考える能力」

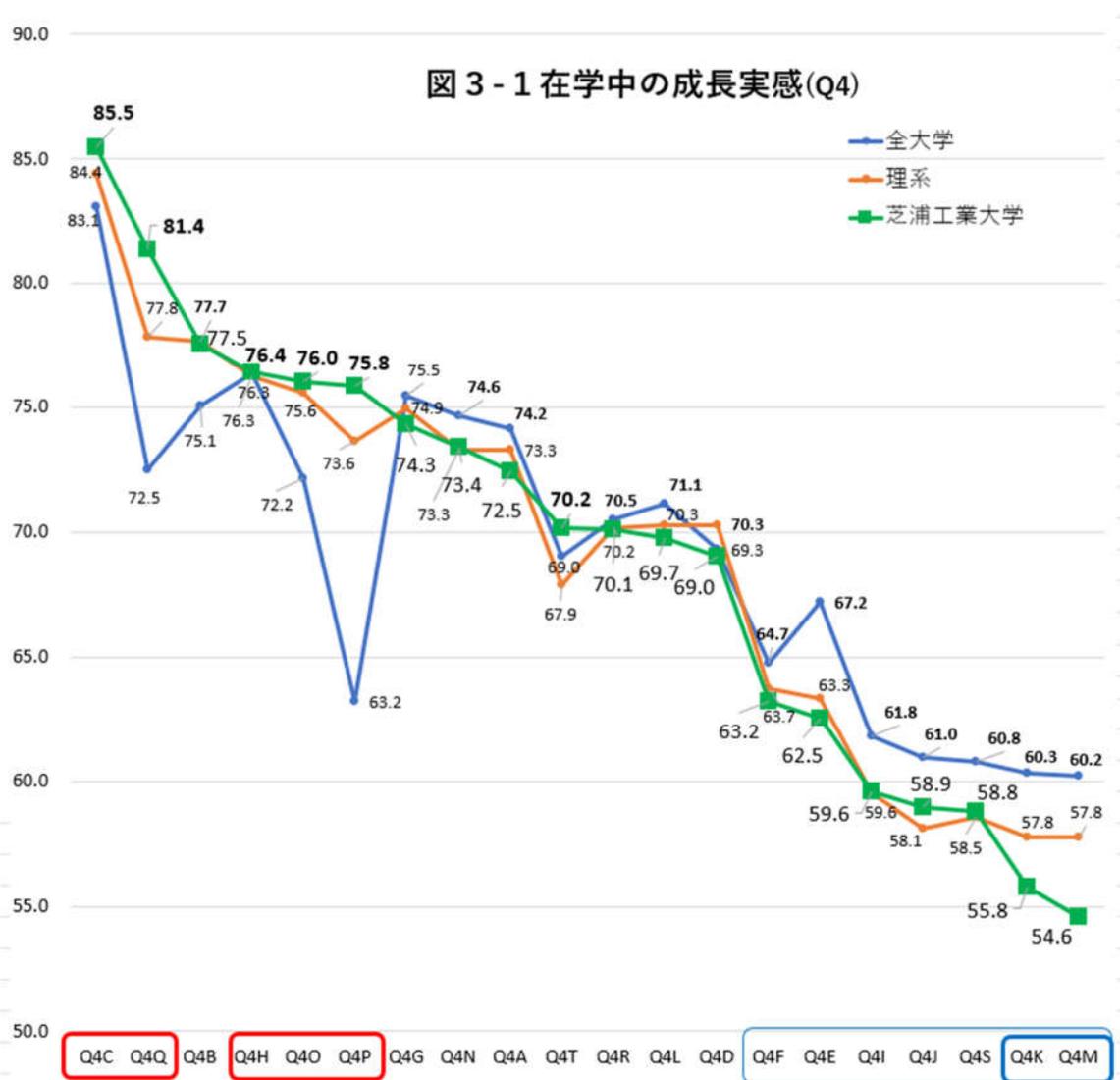
#### 3. 成長実感が低い項目（65 点未満）（F,E,I,J,S,K,M）

「リーダーシップの能力」「異文化の人々に関する知識」  
「異文化の人々と協力する能力」「地域が直面する問題を理解する能力」  
「グローバルな問題の理解」「国民が直面する問題を理解する能力」  
「外国語の運用能力」

表3-1 在学中の成長実感(Q4)

質問 番号	項目名	全大学	理系	芝浦工業 大学
Q4C	C. 専門分野や学科の知識	83.1	84.4	<b>85.5</b>
Q4Q	Q. コンピュータの操作能力	72.5	77.8	<b>81.4</b>
Q4B	B. 分析力や問題解決能力	75.1	<b>77.7</b>	77.5
Q4H	H. 他の人と協力して物事を遂行する能力	76.3	76.3	<b>76.4</b>
Q4O	O. プレゼンテーションの能力	72.2	75.6	<b>76.0</b>
Q4P	P. 数理的な能力	63.2	73.6	<b>75.8</b>
Q4G	G. 人間関係を構築する能力	<b>75.5</b>	74.9	74.3
Q4N	N. コミュニケーションの能力	<b>74.6</b>	73.3	73.4
Q4A	A. 一般的な教養	<b>74.2</b>	73.3	72.5
Q4T	T. 就職に向けた情報収集能力	69.0	67.9	<b>70.2</b>
Q4R	R. 時間を効果的に利用する能力	<b>70.5</b>	70.2	70.1
Q4L	L. 文章表現の能力	<b>71.1</b>	70.3	69.7
Q4D	D. 批判的に考える能力	69.3	<b>70.3</b>	69.0
Q4F	F. リーダーシップの能力	<b>64.7</b>	63.7	63.2
Q4E	E. 異文化の人々に関する知識	<b>67.2</b>	63.3	62.5
Q4I	I. 異文化の人々と協力する能力	<b>61.8</b>	59.6	59.6
Q4J	J. 地域社会が直面する問題を理解する能力	<b>61.0</b>	58.1	58.9
Q4S	S. グローバルな問題の理解	<b>60.8</b>	58.5	58.8
Q4K	K. 国民が直面する問題を理解する能力	<b>60.3</b>	57.8	55.8
Q4M	M. 外国語の運用能力	<b>60.2</b>	57.8	54.6

\*大きく増えた100点、増えた75点、変化なし50点、減った25点、大きく減った0点の平均点  
芝浦工業大学の点数で項目を並び替え、グループ内最高点は太字



・卒業後5年の卒業者の在学中の成長実感（3項目）

（図 3-1-1）「G.人間関係を構築する能力」

・百点換算：全大学 74.5 点・理系大学 75.1 点・芝浦 **75.9** 点 1.6 ポイント増

（図 3-1-2）「I.異文化の人々と協力する能力」

・百点換算：全大学 60.4 点・理系大学 61.1 点・芝浦 **65.7** 点 6.1 ポイント増

（図 3-1-3）「M.外国語の運用能力」

・百点換算：全大学 58.0 点・理系大学 57.9 点・芝浦 **59.1** 点 4.5 ポイント増

卒業後5年の卒業生については、本学の成長実感がもっとも高いです。百点満点に換算すると、「G.人間関係を構築する能力」は 1.6 ポイント、「I.異文化の人々と協力する能力」は 6.1 ポイント、「M.外国語の運用能力」は 4.5 ポイントの増加になります。

図 3-1-1 人間関係を構築する能力

－ 卒後5年 － (Q4G)

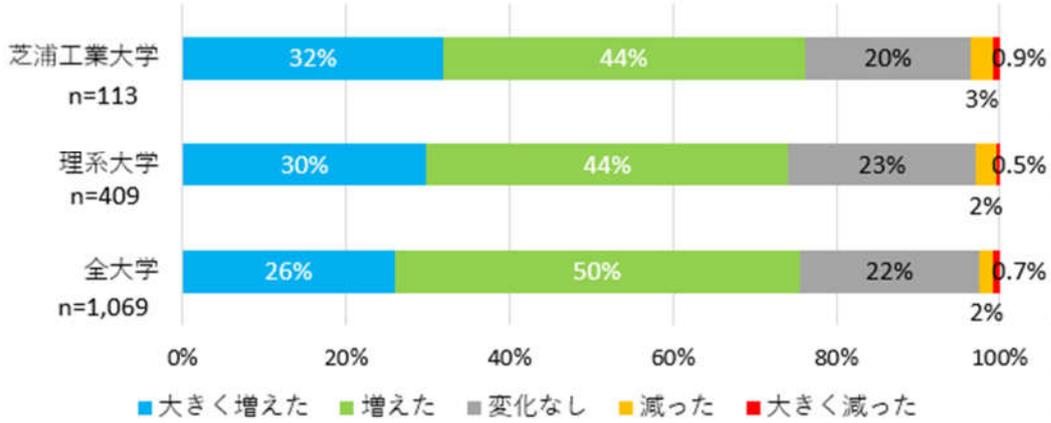


図 3-1-2 異文化の人々と協力する能力

－ 卒後5年 － (Q4I)

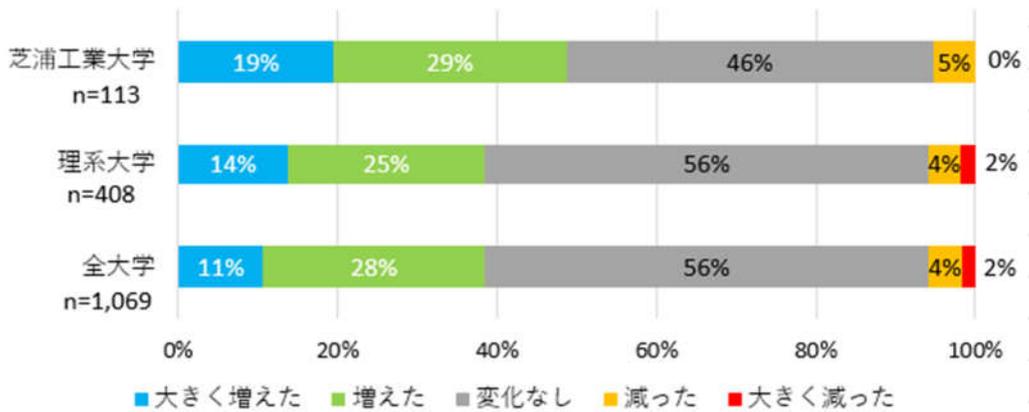
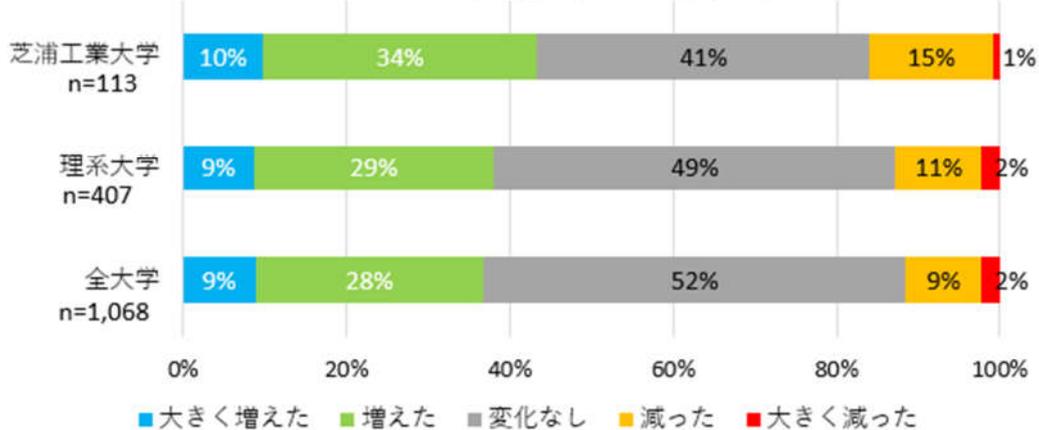


図 3-1-3 外国語の運用能力

－ 卒後5年 － (Q4M)



#### 4. 大学時代の留学経験

大学時代の留学経験は、「渡航したことはない」が大半を占めています(図 4-1)。卒業後5年では、本学の「渡航したことはない」(56%)は19ポイントの減少です。留学期間は、「10日以上1ヶ月未満」(19%)と「1ヶ月以上6ヶ月未満」(16%)が増えています。一方で、全大学の「渡航したことはない」(80%)は変化ありません(図 4-2)。

図 4 - 1 大学時代の留学経験(Q5)

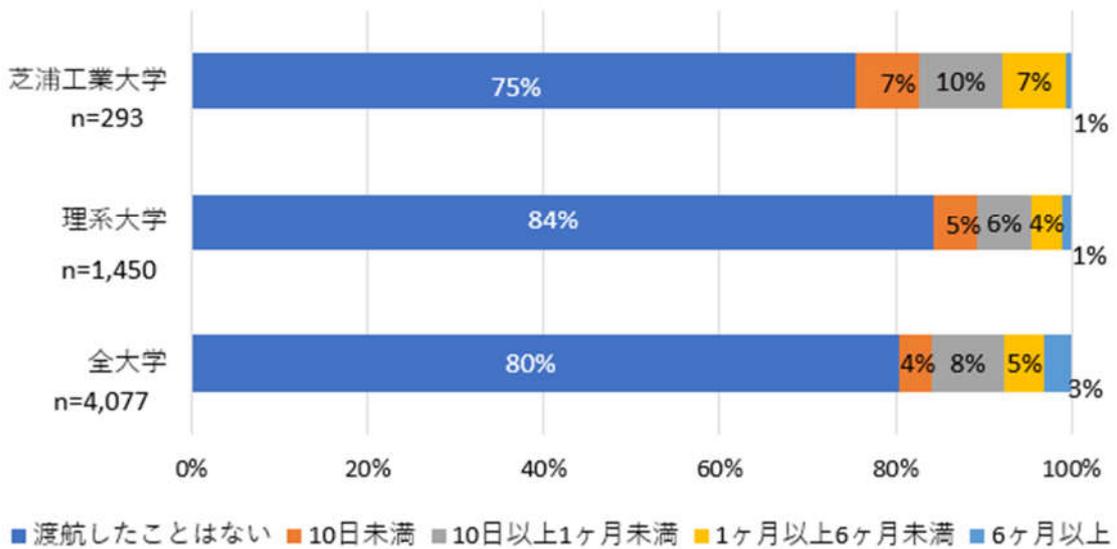
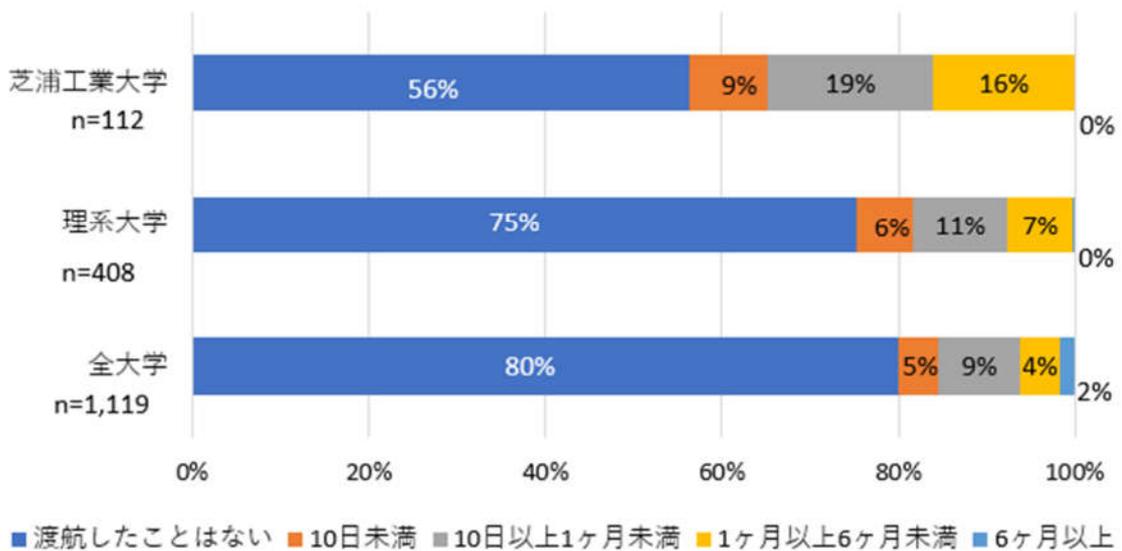


図 4 - 2 大学時代の留学経験 - 卒業5年 - (Q5)

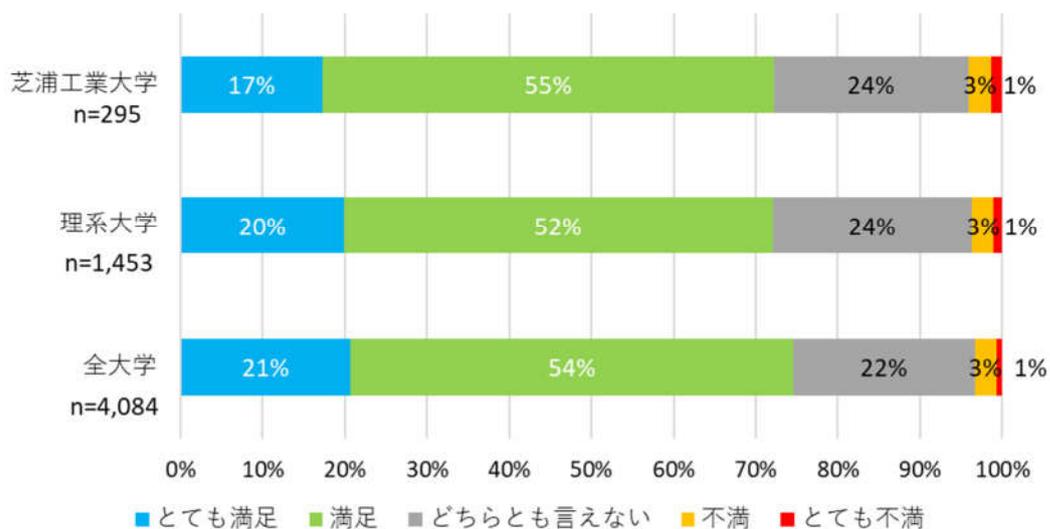


## 5. 満足度

### (1) 教育研究の満足度

本学の満足度は、「とても満足」と「満足」で72%です。全大学や理系大学と同程度の満足度ですが、本学は「とても満足」(17%)が少なめです(図5-1)。

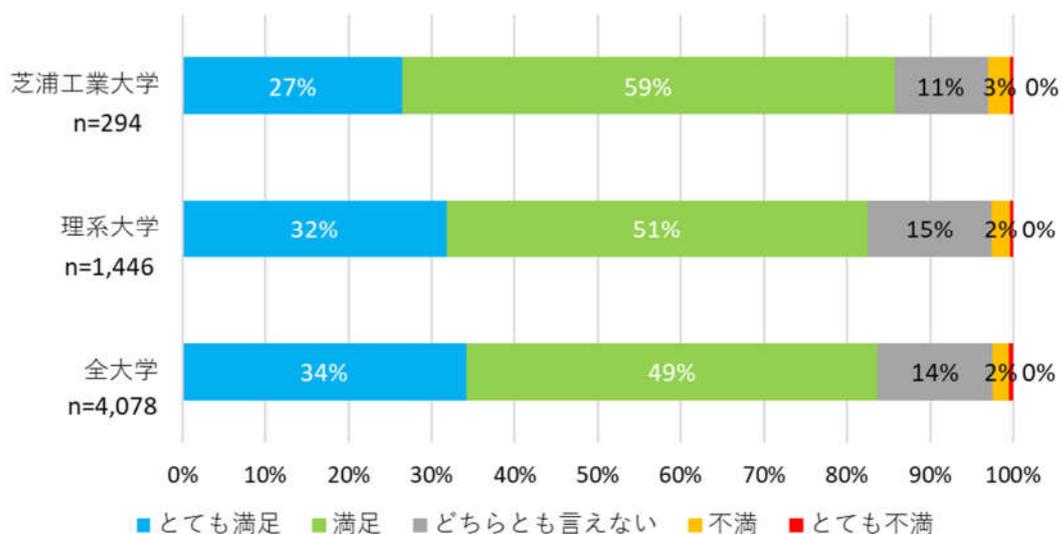
図5-1 教育研究の満足度(Q6)



### (2) 大学時代の生活全般の満足度

本学の満足度は、「とても満足」と「満足」で86%です。全大学や理系大学と比べて高い満足度ですが、本学は「とても満足」(27%)が少なめです(図5-2)。

図5-2 生活全般の満足度(Q7)



## 6. 大学とのつながり

調査では12項目について本学との「つながり」をたずねました(図6-2～図6-13)。どの項目にも「つながりはない」卒業生は25%でした(図6-1)。

主な「つながり」は「同窓との付き合い」です(48%) (図6-10)。次に、「ゼミや研究室の集まり」(28%) (図6-4)、「クラブ・サークルの集まり」(23%) (図6-5)、「恩師との付き合い」(17%) (図6-11)です。ホームページやSNSは12%が閲覧しています(図6-6)。また、「同窓会やホームカミングデー等の諸行事」(7%) (図6-2)や「企業内、職域等での同窓の集まり」(9%) (図6-3)、「仕事上のつながり」(6%) (図6-12)は10%未満です。「大学に寄付をしたことがある」(4%) (図6-7)、「親戚に大学関係者がいる」(1%) (図6-8)、「公開講座や図書館などを利用」(4%) (図6-9)は少ないです。

図6-1 つながりはない(Q8-13)

(複数回答)

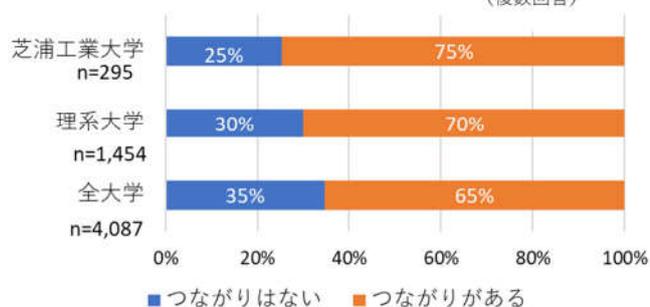


図6-4 ゼミや研究室の

集まりに参加(Q8-3)

(複数回答)

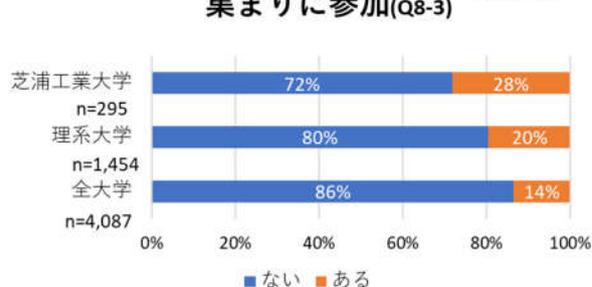


図6-2 同窓会・ホームカミングデー  
や大学開催の諸行事への参加(Q8-1)

(複数回答)

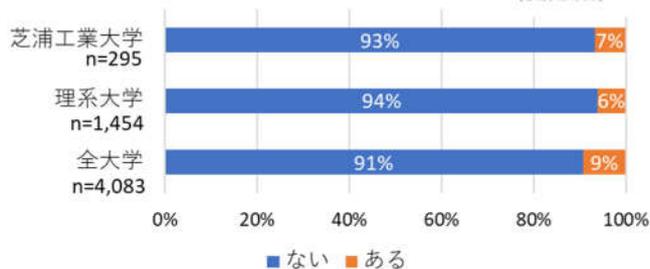


図6-5 クラブ・サークルの

集まりに参加(Q8-4)

(複数回答)

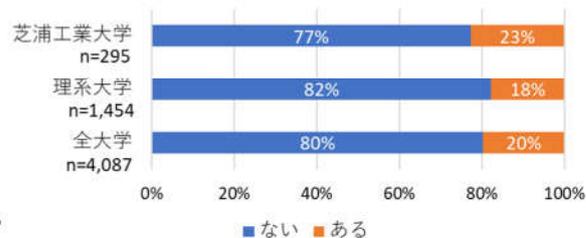


図6-3 企業内、職域などの  
同窓の集まりに参加(Q8-2)

(複数回答)

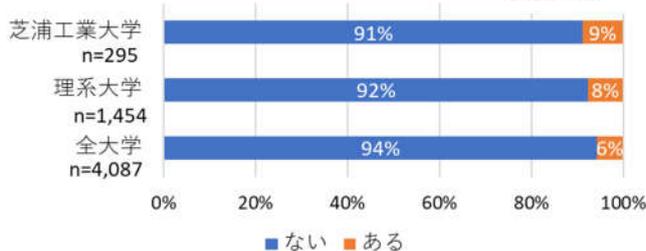


図6-6 ホームページやSNSの

閲覧をしている(Q8-5)

(複数回答)

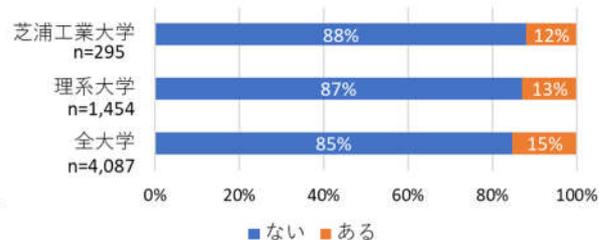


図6-7 大学に寄付をした  
ことがある(Q8-6) (複数回答)

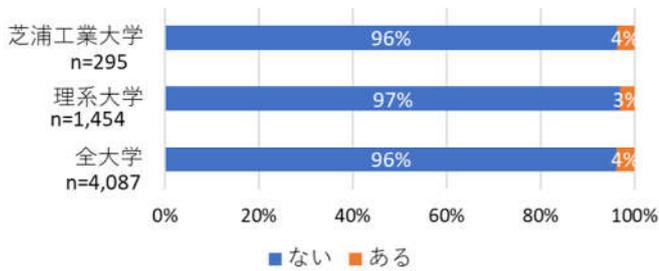


図6-11 恩師との付き合いを  
保っている(Q8\_10) (複数回答)

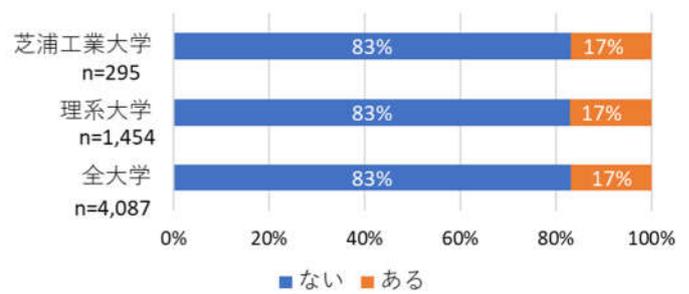


図6-8 親戚に大学関係者  
(学生・教職員) がいる(Q8\_7) (複数回答)

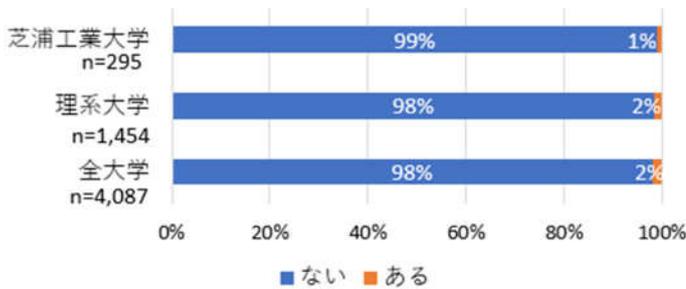


図6-12 仕事上のつながりがある  
(Q8\_11) (複数回答)

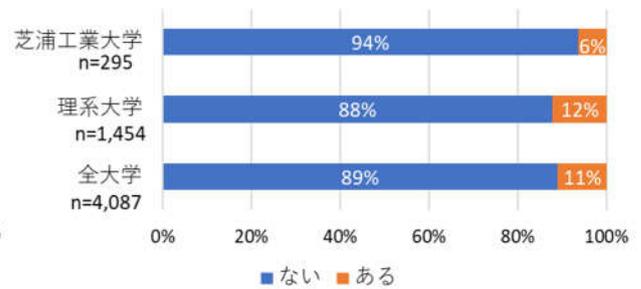


図6-9 公開講座や図書館などを  
利用している(Q8\_8) (複数回答)

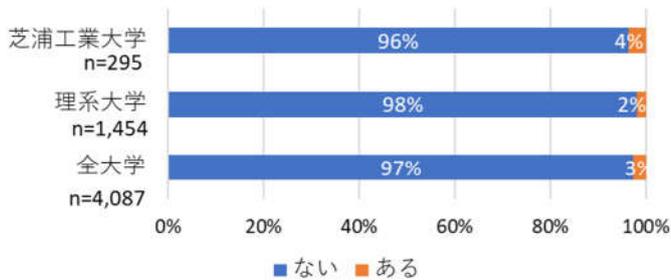


図6-13 その他(Q8\_12) (複数回答)

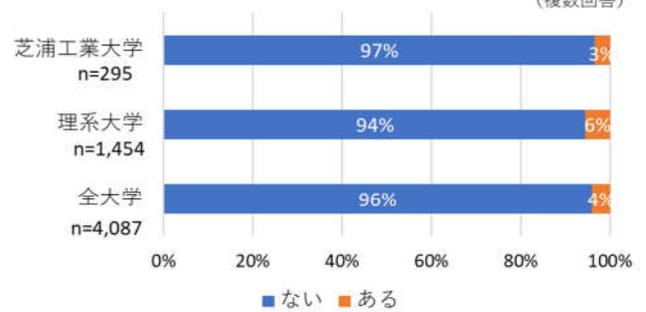
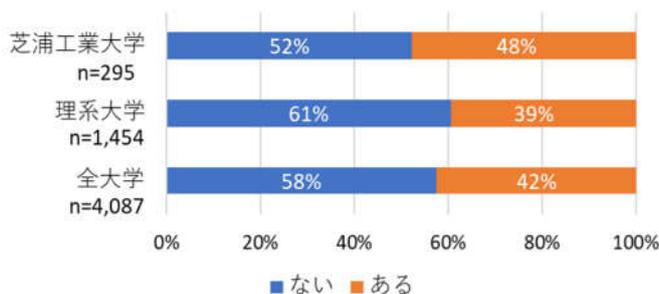


図6-10 同窓との付き合いを  
保っている(Q8\_9) (複数回答)

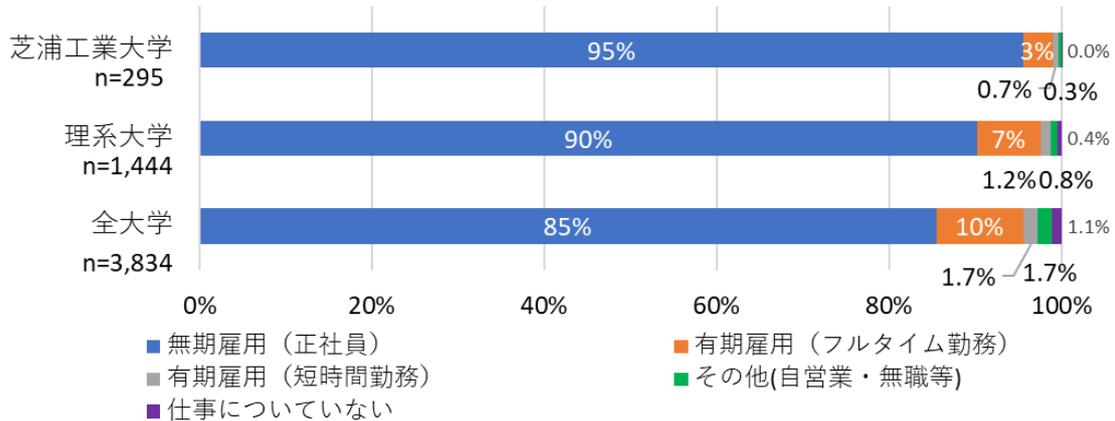


## 7. 初職

### (1) 初職の就業形態

卒業生は95%が無期雇用(正社員)で就職しています。全大学より10ポイント、理系大学より5ポイント多いです(図7-1)。

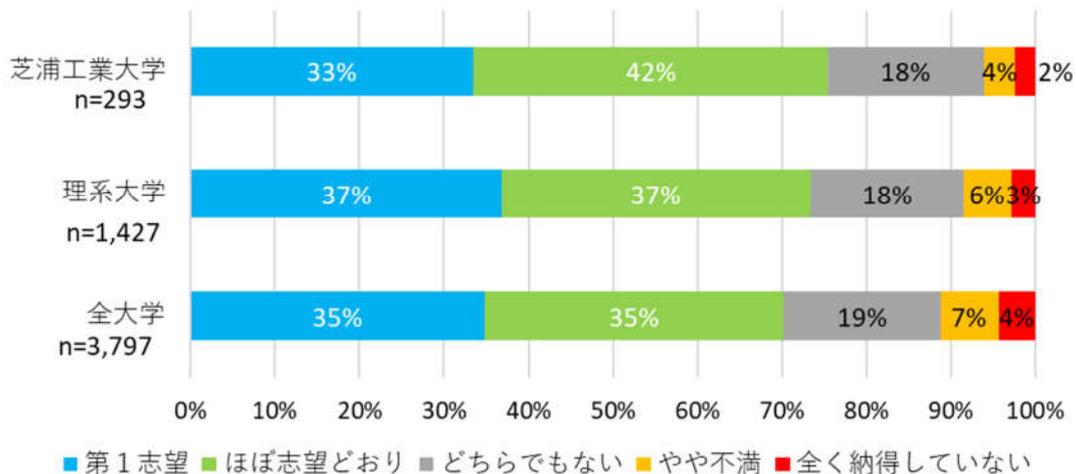
図7-1 初職の就業形態(Q9\_1)



### (2) 初職の志望

本学は「第1志望」33%、「ほぼ志望どおり」42%で75%が志望どおりに初職に就いています。全大学では70%が志望どおりに就職しています(図7-2)。

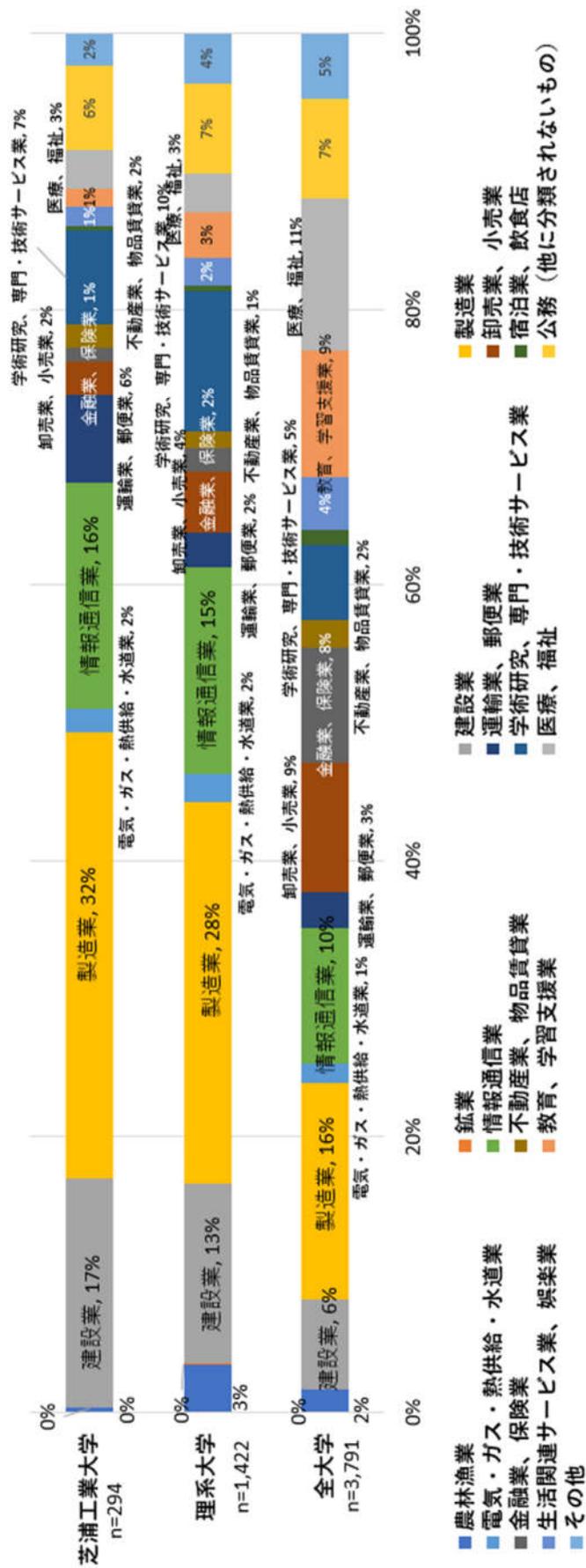
図7-2 初職の志望(Q9\_3)



### (3) 初職の業種

卒業生の初職の主な業種は「製造業」(32%)、「建設業」(17%)、「情報通信業」(16%)です。製造業は、全大学より16ポイント、理系大学より4ポイント多いです。建設業は、全大学より11ポイント、理系大学より4ポイント多いです。そして、情報通信産業は、全大学より6ポイント、理系大学より1ポイント多いです(次ページ、図7-3)。

図 7-3 初職の就職先の業種(Q9-2)



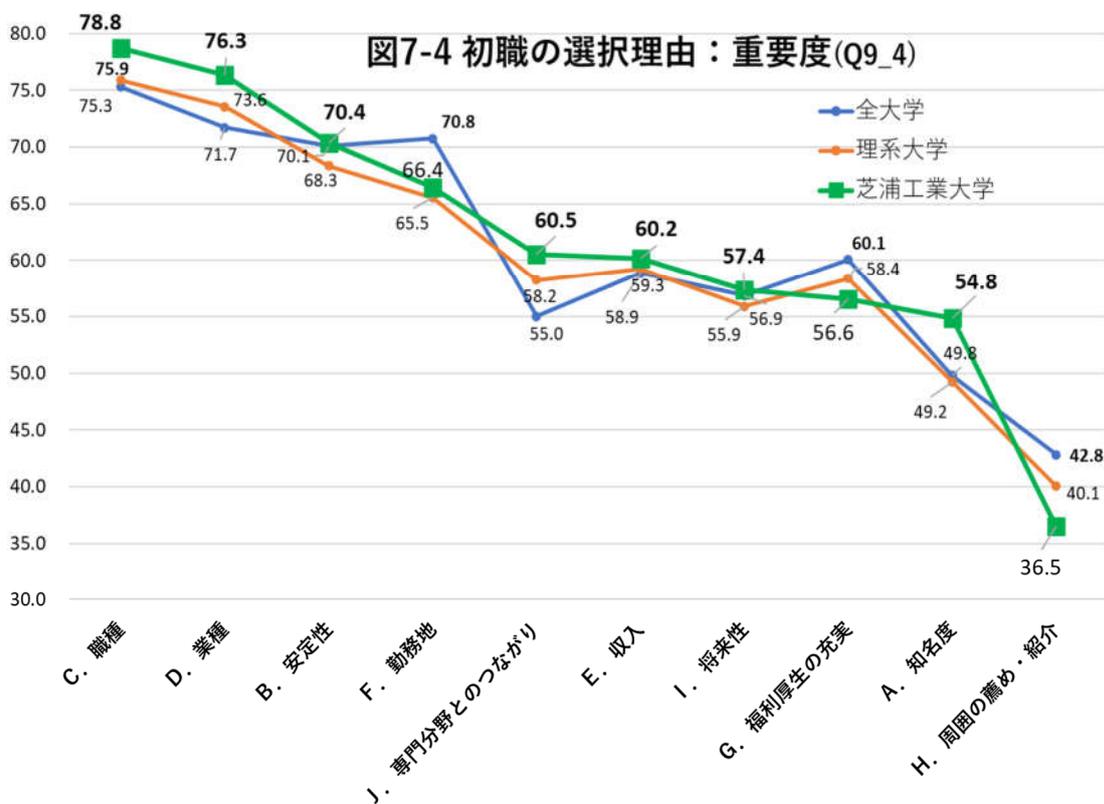
(4) 初職の選択理由

初職の選択で重視する項目は、「C. 職種」(78.8)と「D. 業種」(76.3)が多いです。また、全大学や理系大学と比べて、「B. 安定性」(70.45)、「J. 専門分野とのつながり」(60.5)、「E. 収入」(60.2)、「I. 将来性」(57.4)、「A. 知名度」(54.8)が多いです(表7-4, 図7-4)。

表7-4 初職の選択理由：重要度(Q9\_4)

質問番号	項目名	全大学	理系大学	芝浦工業大学
Q9_4C	C. 職種	75.3	75.9	<b>78.8</b>
Q9_4D	D. 業種	71.7	73.6	<b>76.3</b>
Q9_4B	B. 安定性	70.1	68.3	<b>70.4</b>
Q9_4F	F. 勤務地	<b>70.8</b>	65.5	66.4
Q9_4J	J. 専門分野とのつながり	55.0	58.2	<b>60.5</b>
Q9_4E	E. 収入	58.9	59.3	<b>60.2</b>
Q9_4I	I. 将来性	56.9	55.9	<b>57.4</b>
Q9_4G	G. 福利厚生 of 充実	<b>60.1</b>	58.4	56.6
Q9_4A	A. 知名度	49.8	49.2	<b>54.8</b>
Q9_4H	H. 周囲の薦め・紹介	<b>42.8</b>	40.1	36.5

\*非常に重視した100点、やや重視した66.66点、あまり重視しなかった33.33点、全く重視しなかった0点の平均点  
芝浦工業大学の点数で項目を並び替え、グループ内最高点は太字。

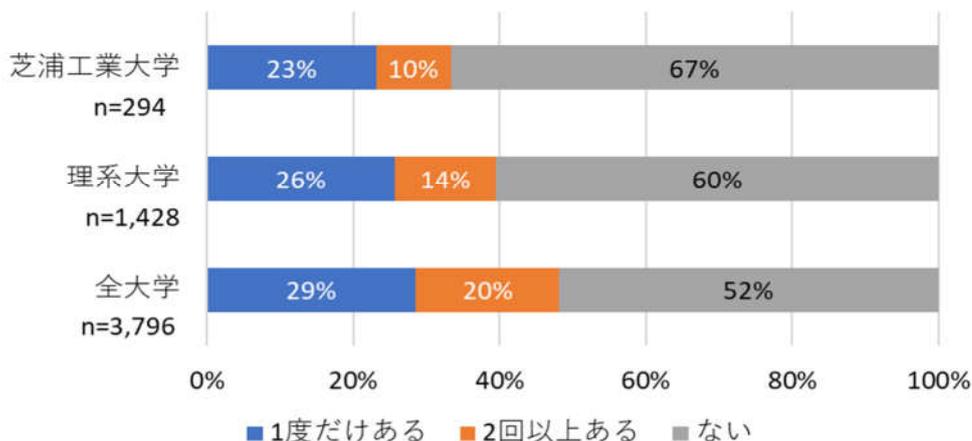


## 8. 転職・離職の経験

### (1) 転職・離職の経験

転職や離職の経験は、本学の卒業生は「1度だけある」23%、「2回以上ある」10%です。全大学や理系大学より少ないです(図 8-1)。

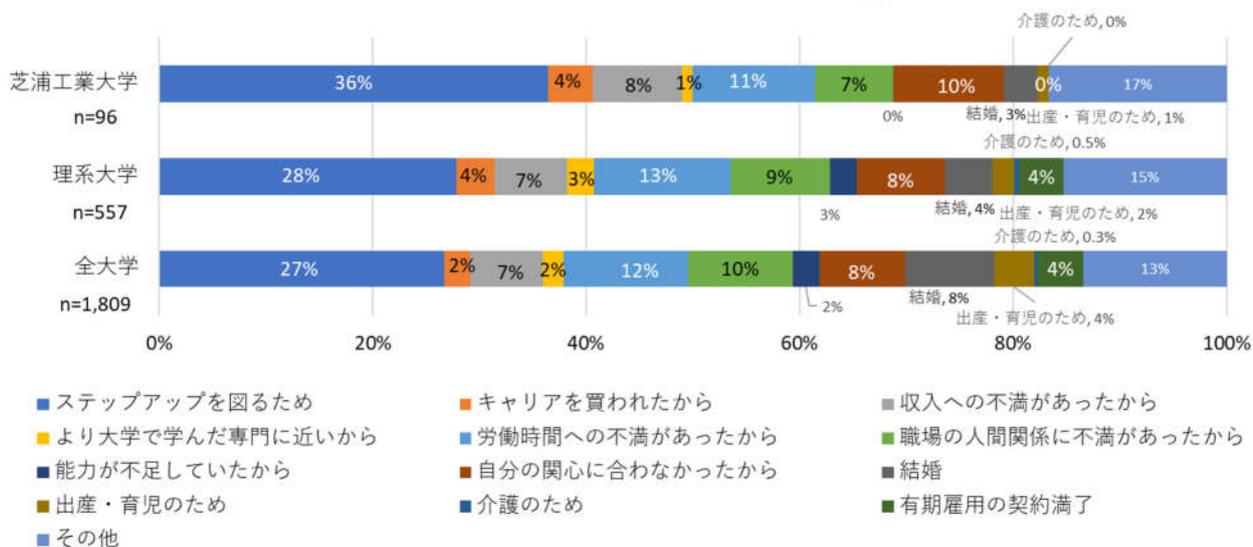
図 8 - 1 転職・離職の経験(Q10\_1)



### (2) 転職・離職の理由

本学の最も多い理由は「ステップアップを図るため」(36%)です。次いで、「労働時間への不満があったから」(11%)、「自分の関心に合わなかったから」(10%)、「収入への不満があったから」(8%)、「職場の人間関係に不満があったから」(7%)です。全大学、理系大学も同様です。本学は「ステップアップを図るため」が多いです(図 8-2)。

図 8 - 2 転職・離職の理由(Q10\_2)

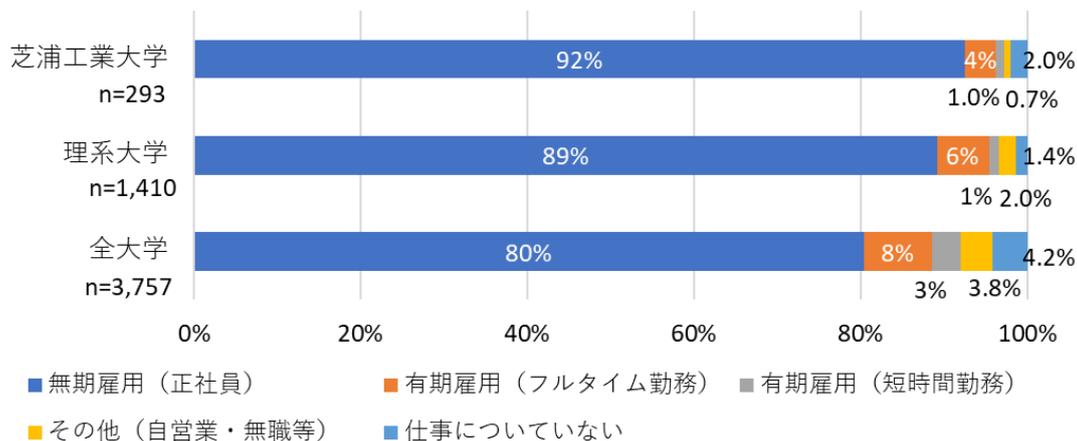


## 9. 現職

### (1) 現職の就業形態

本学は92%が無期雇用(正社員)です。全大学より12ポイント、理系大学より3ポイント多いです(図9-1)。

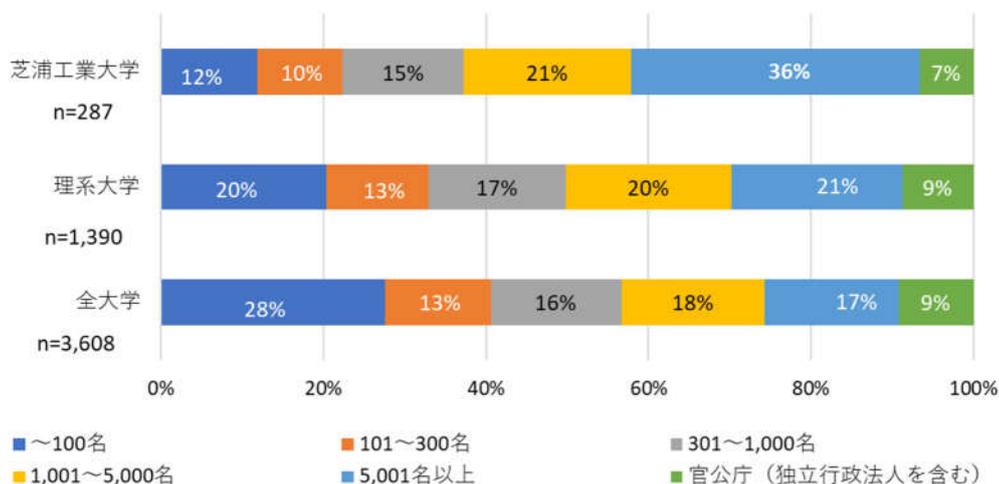
図9-1 現職の就業形態(Q11\_1)



### (2) 従業員規模

卒業生の現在の勤務先の従業員規模は「5,001名以上」(36%)が多いです。全大学より19ポイント、理系大学より15ポイント多いです(図9-2)。

図9-2 現在の勤務先の従業員規模(Q11\_3)



### (3) 現職の業種(転職・離職の経験者について)

卒業生の現職の主な業種は、「製造業」(31%)、「情報通信業」(17%)、「建設業」(15%)です。製造業は、全大学より15ポイント、理系大学より4ポイント多いです。情報通信産業は、全大学より7ポイント、理系大学より3ポイント多いです。そして、建設業は、全大学より8ポイント、理系より3ポイント多いです(次ページ、図9-3)。

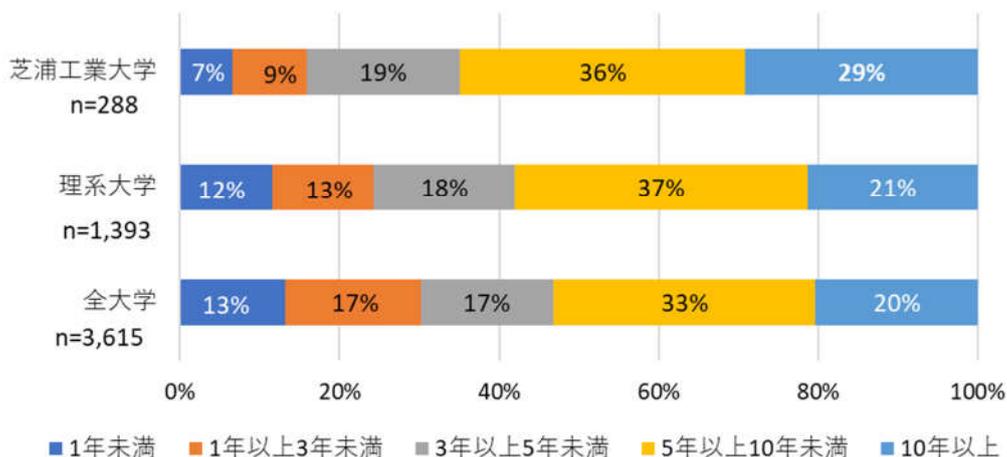
図 9-3 現職の就職先の業種（転職・離職の経験者について）(Q11\_2)



(4) 勤務先での在籍年数

卒業生の勤務先での在籍年数は、「5年以上10年未満」(36%)と「10年以上」(29%)が多いです。全大学や理系大学より、在籍年数「10年以上」が多いです(図9-4)。

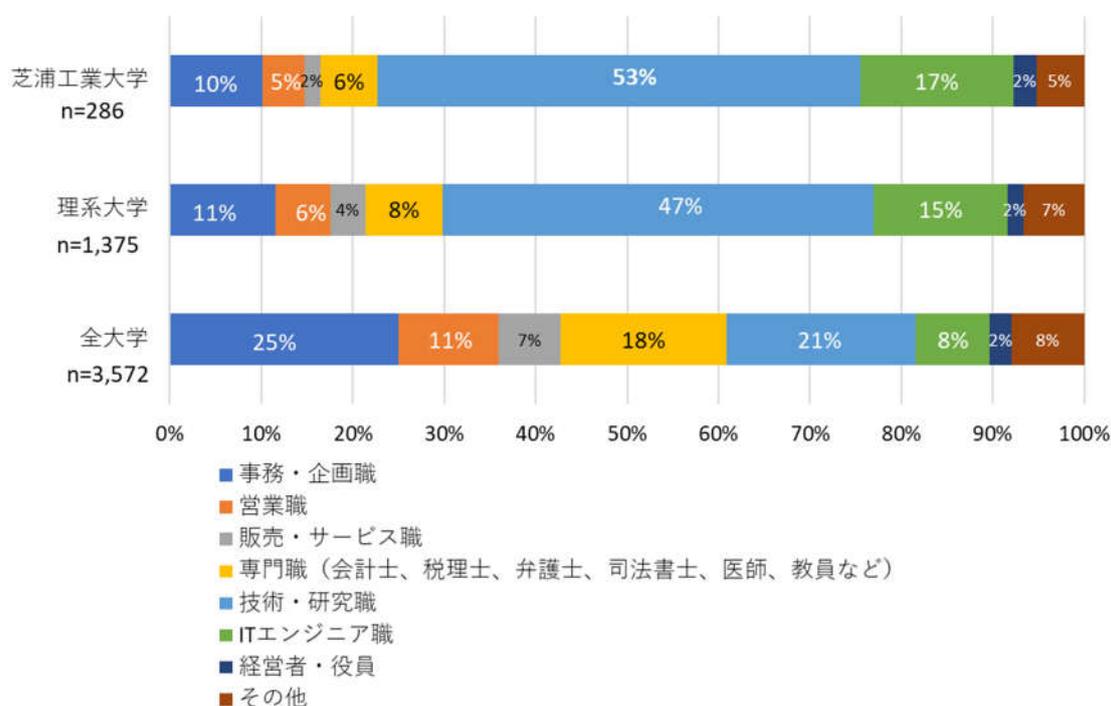
図9-4 現在の勤務先での在籍年数(Q11\_4)



(5) 現在の勤務先での職種

卒業生の勤務先での主な職種は、「技術・研究職」(53%)、「ITエンジニア職」(17%)、「事務・企画職」(10%)です。「技術・研究職」は全大学より32ポイント、理系大学より6ポイント多いです(図9-5)。

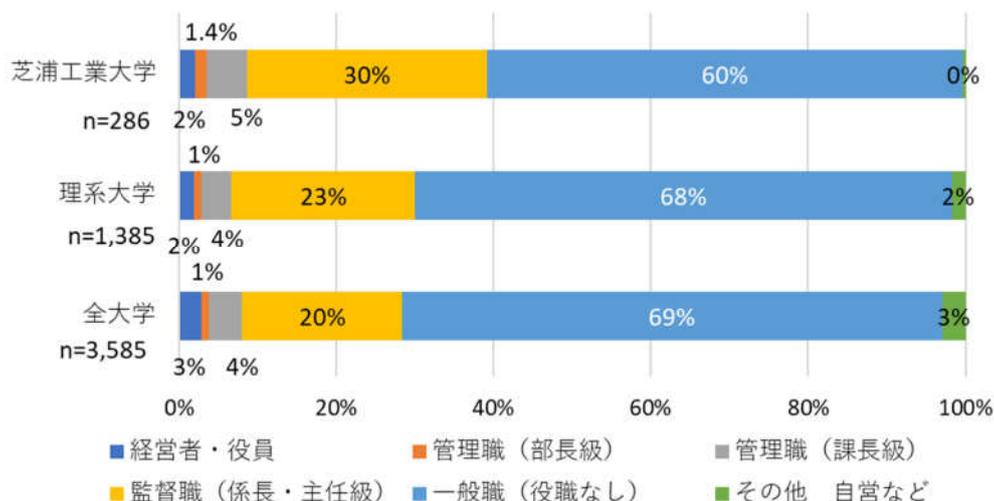
図9-5 現在の勤務先での職種(Q11\_5)



(6) 現在の職階

卒業生の現在の職階は、「一般職(役職なし)」(60%)が最も多いです。次いで「監督職(係長・主任級)」(30%)です。「監督職(係長・主任級)」は全大学より10ポイント、理系大学より7ポイント多いです。(図9-6)。

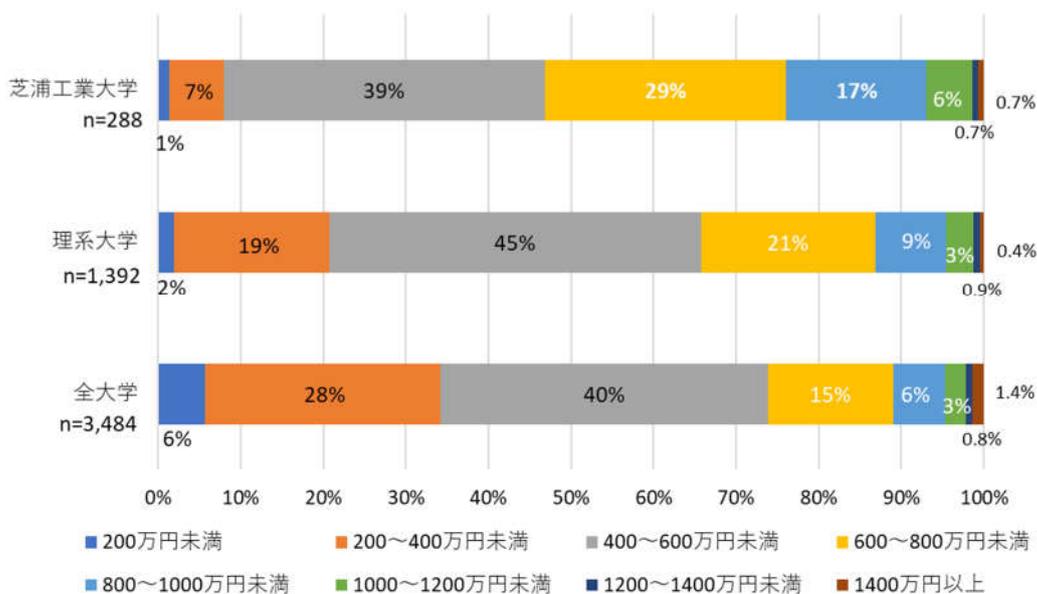
図9-6 現在の職階(Q11\_6)



(7) 年収

卒業生の年収は「400~600万円」(39%)、「600~800万円」(29%)、「800~1000万円」(17%)です。全大学や理系大学と比べて、本学の卒業生は高収入です(図9-7)。

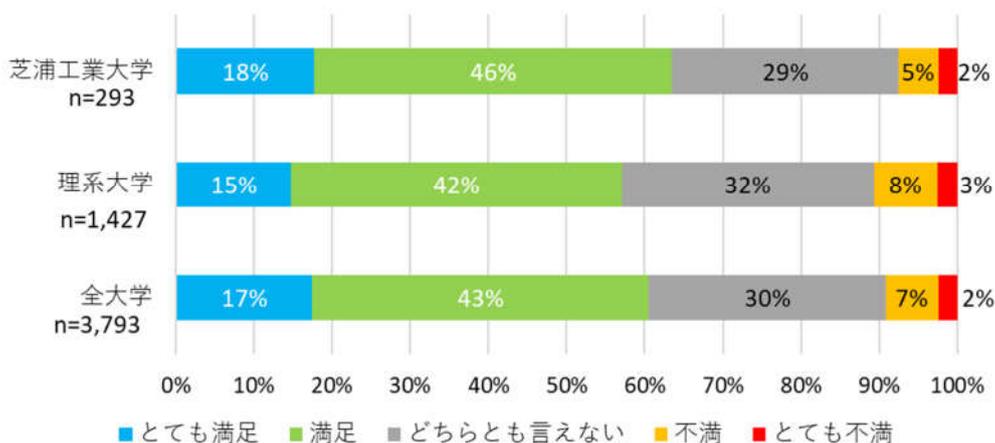
図9-7 現在の年収(Q11\_7)



## 10. キャリアパスの満足度

本学の卒業生のキャリアパスの満足度は、「とても満足」(18%)、「満足」(46%)です。全大学や理系大学と比べて、満足度は高めです(図10)。

図10 キャリアパスの満足度(Q12)



## 11. 海外での勤務経験や業務における外国語の使用

卒業生は、「メールや文書のやりとり」(32%)(図11-4)、「海外出張」(25%)(図11-2)、「会話や議論」(21%)(図11-3)で外国語を使用する機会があります。全大学や理系大学よりも多いです。

なお、「海外での勤務経験」(6%)(図11-1)や「社内公用語が外国語」(2%)(図11-5)は少ないです。そして、「どれにもあてはまらない」は約6割(56%)です(図11-6)。

図11-1 海外での勤務経験がある(Q13-1)

(複数回答)

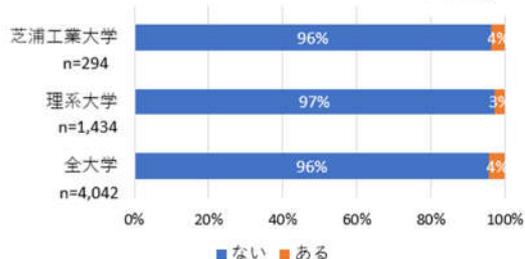


図11-2 海外出張の経験がある(Q13-2)

(複数回答)

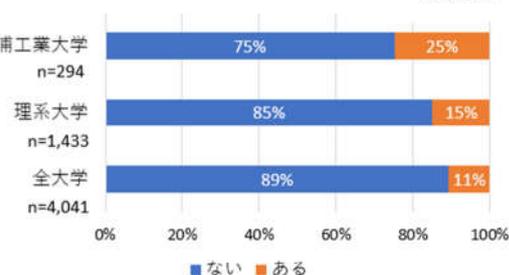


図11-3 外国語を使用し、  
会話や議論をする必要(Q13-3)

(複数回答)

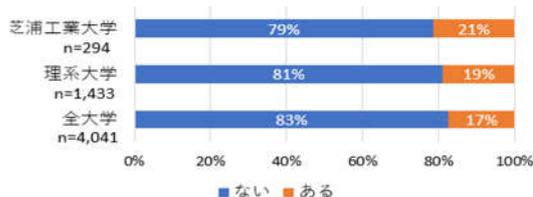


図11-5 社内公用語が外国語(Q13-5)

(複数回答)

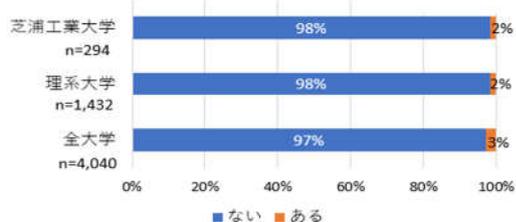


図11-4 外国語を使用し、メールや文書のやりとりをする必要(Q13-4)  
(複数回答)

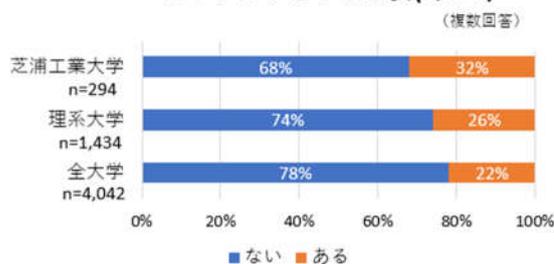
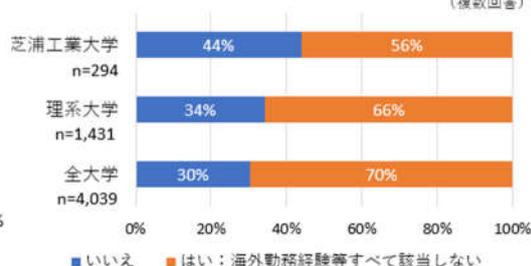


図11-6 どれもあてはまらない(Q13-6)  
(複数回答)



## 12. 大学生時代に身につける能力の重要性

大学時代に身につける能力の重要性を19項目について5段階の選択肢を100点満点に換算し、本学の点数が高い順に並べ替えました。

90点以上の重要性が高い項目には、「H. 他の人と協力して物事を遂行する能力」、「N. コミュニケーション能力」、「G. 人間関係を構築する能力」、「B. 分析力や問題解決力」と汎用的技能の項目が並びます(表12、図12)。正課や準正課で汎用的技能の学習を考慮する重要性を示唆します。

表12 大学生時代に身につける能力の重要性(Q14)

質問番号	項目名	全大学	理系大学	芝浦工業大学
Q14H	H. 他の人と協力して物事を遂行する能力	90.9	90.0	<b>91.9</b>
Q14N	N. コミュニケーションの能力	<b>92.8</b>	91.4	91.8
Q14G	G. 人間関係を構築する能力	<b>91.8</b>	90.6	91.7
Q14B	B. 分析力や問題解決能力	88.8	89.2	<b>91.7</b>
Q14R	R. 時間を効果的に利用する能力	<b>89.3</b>	87.0	88.1
Q14L	L. 文章表現の能力	87.4	86.0	<b>87.5</b>
Q14O	O. プレゼンテーションの能力	83.7	84.2	<b>85.8</b>
Q14Q	Q. コンピュータの操作能力	<b>86.2</b>	83.9	85.4
Q14P	P. 数理的な能力	76.1	78.9	<b>81.8</b>
Q14F	F. リーダーシップの能力	79.0	77.7	<b>79.8</b>
Q14A	A. 一般的な教養	<b>84.7</b>	80.7	78.6
Q14C	C. 専門分野や学科の知識	75.7	<b>75.6</b>	74.8
Q14D	D. 批判的に考える能力	74.3	<b>74.5</b>	72.3
Q14M	M. 外国語の運用能力	<b>69.1</b>	66.9	66.3
Q14I	I. 異文化の人々と協力する能力	<b>68.4</b>	65.2	64.7
Q14E	E. 異文化の人々に関する知識	<b>69.0</b>	65.1	64.3
Q14J	J. 地域社会が直面する問題を理解する能力	<b>68.7</b>	64.0	62.9
Q14S	S. グローバルな問題の理解	<b>67.3</b>	63.7	62.6
Q14K	K. 国民が直面する問題を理解する能力	<b>68.4</b>	63.7	61.8

\*重要100点、どちらかといえば重要75点、どちらともいえない50点、  
どちらかといえば重要でない25点、重要でない0点の平均点  
芝浦工業大学の点数で項目を並び替え、グループ内最高点は太字。

